

第1回アンケート  
在宅福祉について

## 1 調査の概要

この報告書は、平成8年度第1回区政モニターアンケート「在宅福祉について」の回答をまとめたものです。

## 2 調査目的

足立区の在宅福祉について、区民の意識と現状を探り、今後の施策に反映させることを目的として、調査を行いました。

## 3 調査方法

調査票・回答とも郵送

## 4 実施時期

平成8年7月

## 5 送付数

50人

## 6 回答数

50人

### 回答者の性別・年代別・職業別の構成

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男	2	3	2	2	9	1	19
女	3	8	5	11	3	1	31
計	5	11	7	13	12	2	50

職業別	自営業 事業主	管理職 自由業	事務職 技術職	労務職 サービス業	パート タイマー	学生	主婦	無職	合計
人数	3	0	5	4	3	2	22	11	50

## 7 調査結果・分析の見方

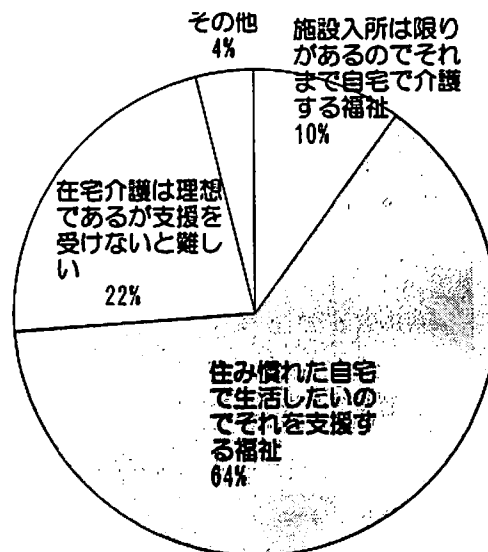
回答の比率(%)は、その設問の回答者を基礎として算出しました。従って、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を越えます。また、原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示したもので、比率の合計が100%に満たない、または、上回ることが場合があります。(Nは回答者数、未記入の場合は50人)

意見は、原文の趣旨を損なわないように要約し、掲載しました。

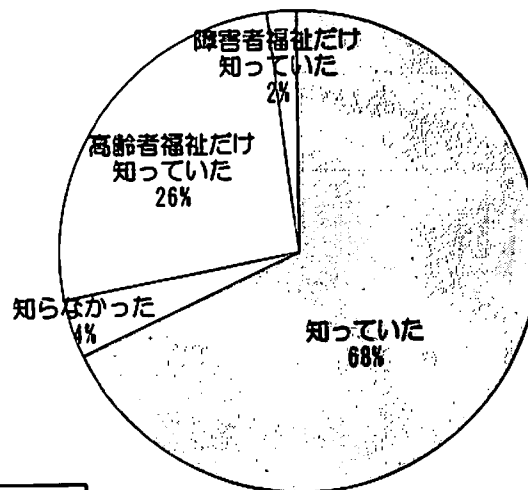
## 要旨

1	在宅介護に対するイメージ	
	「住み慣れた自宅で生活したいのでそれを支援する福祉」	64%
2	「在宅福祉」の周知度	
	「高齢者福祉と障害者福祉の両方の施策がある」	68%
3	高齢者・障害者の福祉サービスの周知度	
	「巡回入浴サービス」	86%
	「食事サービス」	72%
4	高齢者・障害者の福祉サービス施設の周知度	
	「特別養護老人ホーム」	96%
	「障害福祉総合センター」	66%
5	高齢になったときの不安感	
	「健康」	90%
	「自分の介護」	78%
6	ねたきりになった時の施設入所・在宅の選択	
	「施設に入りたい」	28%
	「在宅を希望する」	52%
6-1	施設希望の理由（14人中）	
	「家族に迷惑をかけたくない」	78.6%
6-2	在宅希望の理由（26人中）	
	「介護サービスを受けながら自宅で生活したい」	92.3%
7	高齢や障害を持つようになった時、自宅生活のための要件	
	「気軽に往診してくれる医者・看護婦」	58%
8	高齢者・障害者の近隣の一人としての支援方法	
	「相談・話し相手」	82%
	「緊急時の連絡先」	68%
9	在宅介護をする（受ける）ことになった時、介護方法などの相談先	
	「在宅介護支援センターなどの福祉施設」	64%
	「福祉事務所の総合相談窓口」	60%
10	高齢になった時、豊かな生活のために行いたい活動	
	「趣味活動」	78%
	「ボランティア活動」	30%
11	今後の在宅福祉サービスへの要望	
	「日常の介護を援助する事業」	48%
	「ねたきりや痴呆にならないための予防事業」	32%
12	公的介護保険制度への関心度	
	「非常に関心がある」＋「関心がある」	94%
12-1	公的介護保険制度の関心項目（47人中）	
	「サービスの内容」	85.1%
	「保険料の負担額」	76.6%

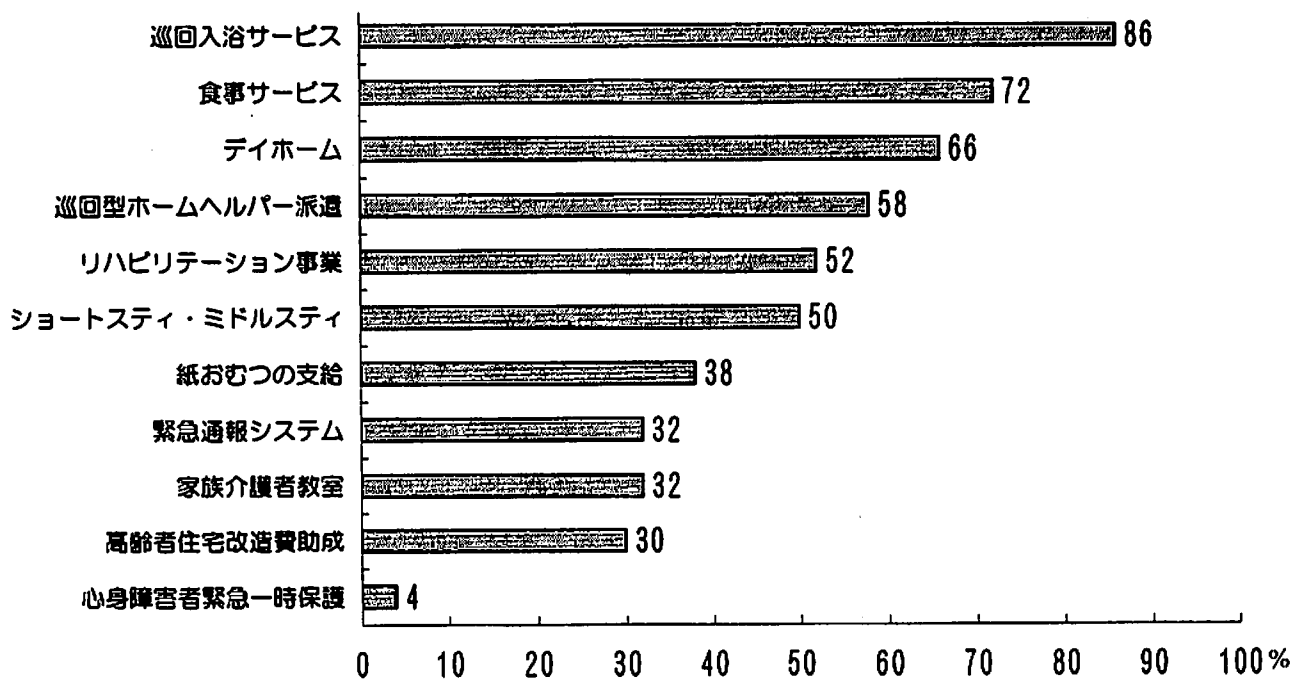
問1 「在宅福祉」ということばから、どんなことをイメージしますか。



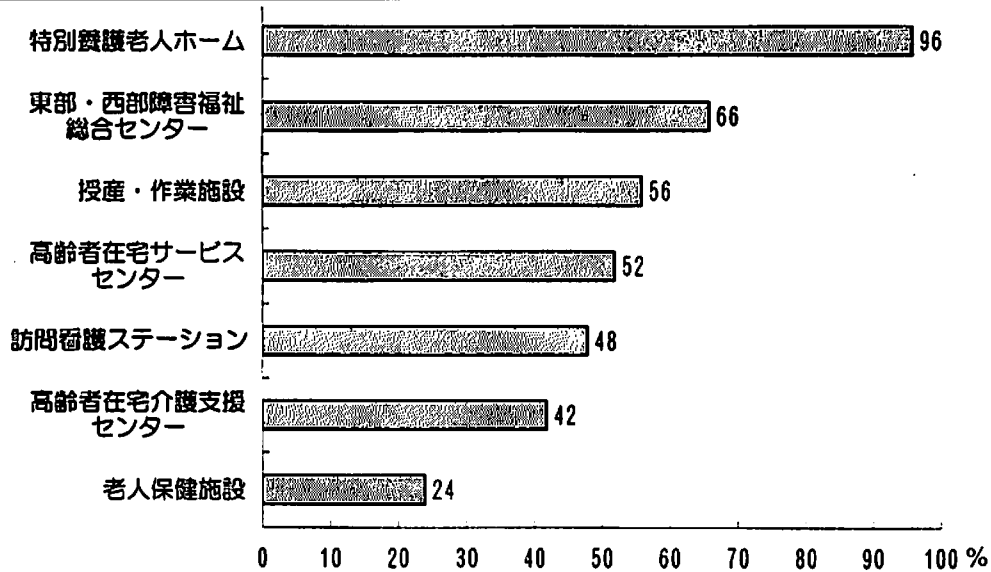
問2 「在宅福祉」の中には高齢者福祉と障害者福祉の両方の施策があることを知っていましたか。



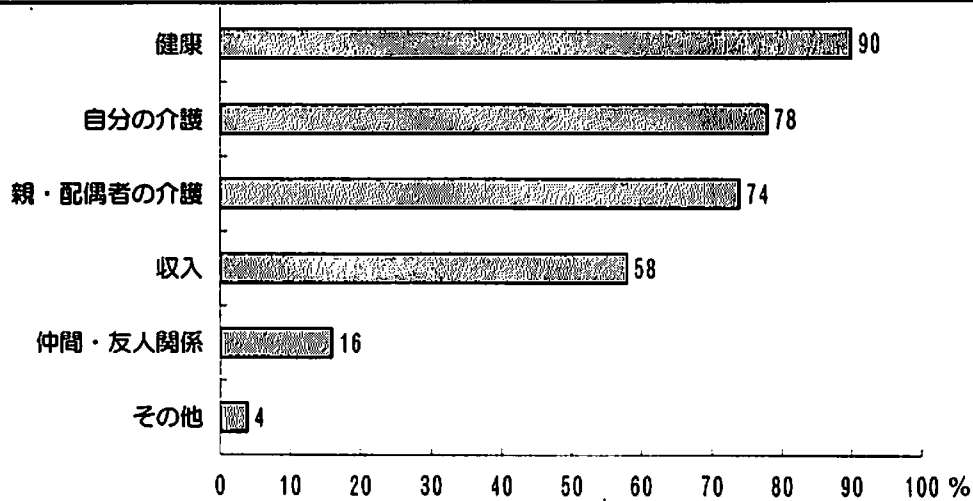
問3 足立区では高齢者・障害者の福祉サービスとして、さまざまな事業を実施しています。知っているものはどれですか。(複数回答)



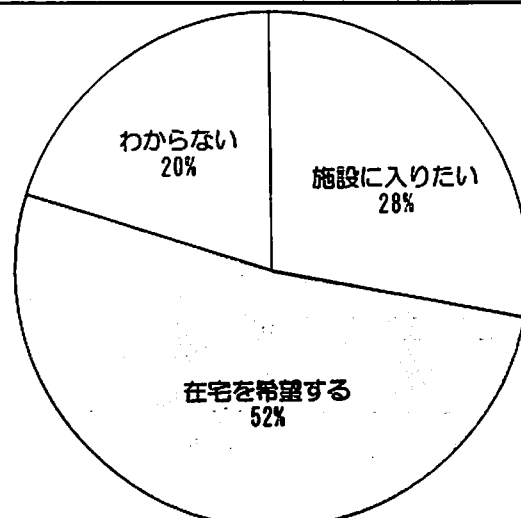
問4 足立区には高齢者・障害者の福祉サービス施設があります。知っているものに○をつけてください。(複数回答)



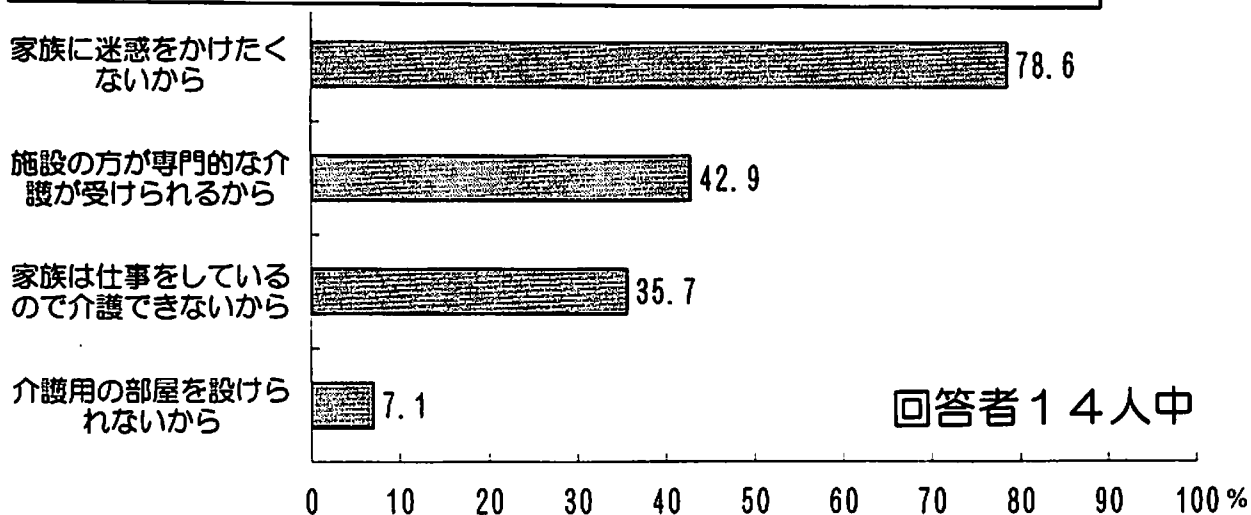
問5 あなたが高齢になったとき、普段の暮らしの中で不安に思うことは何ですか。(複数回答)



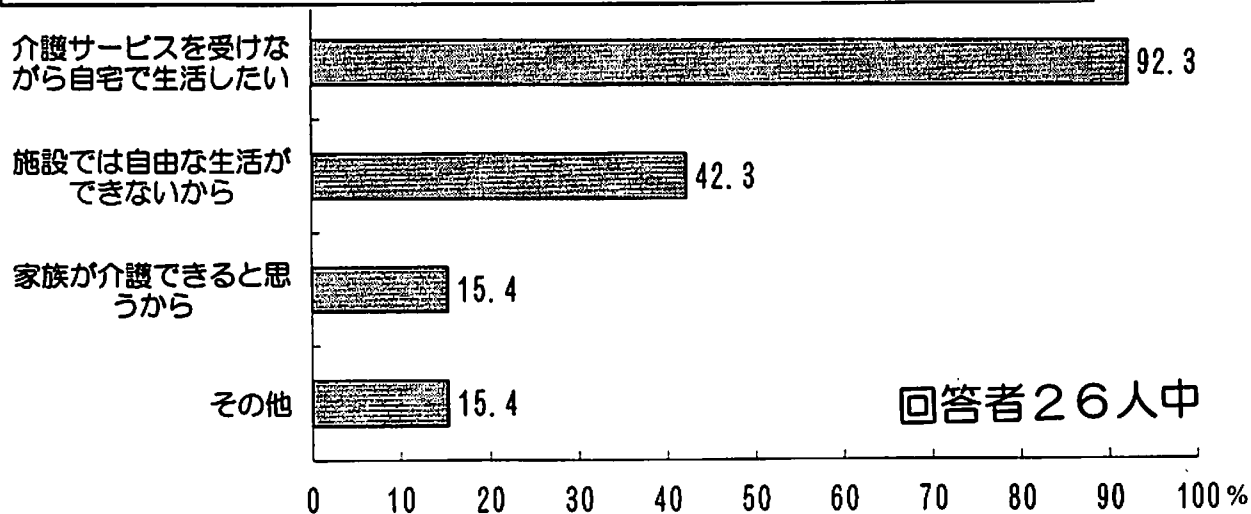
問6 「在宅介護」と「施設入所」についてお聞きします。もし、あなたが老後ねたきりで介護が必要になった場合に、特別養護老人ホーム等の施設に入りたいと思いますか。それとも在宅での介護を希望しますか。



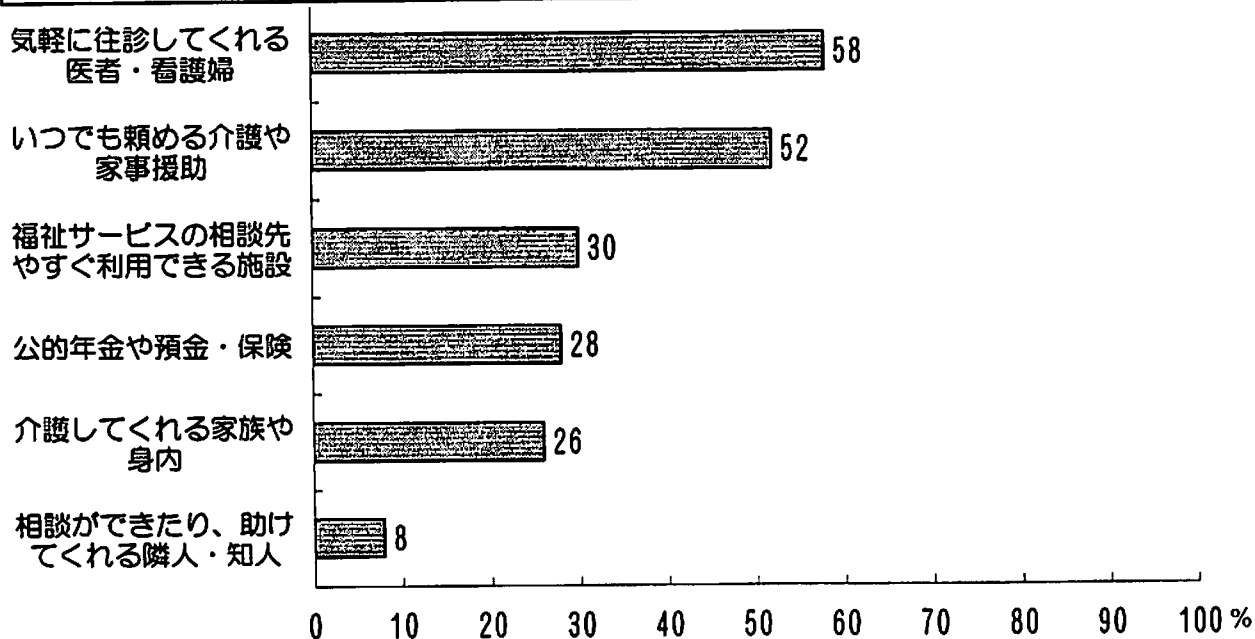
問6-1 施設に入りたい理由は何ですか。



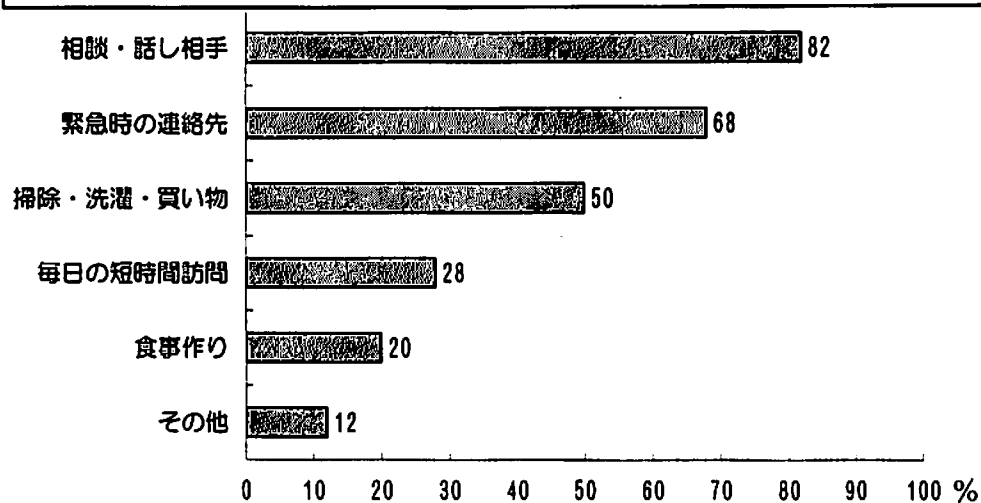
問6-2 在宅介護を希望する理由は何ですか。



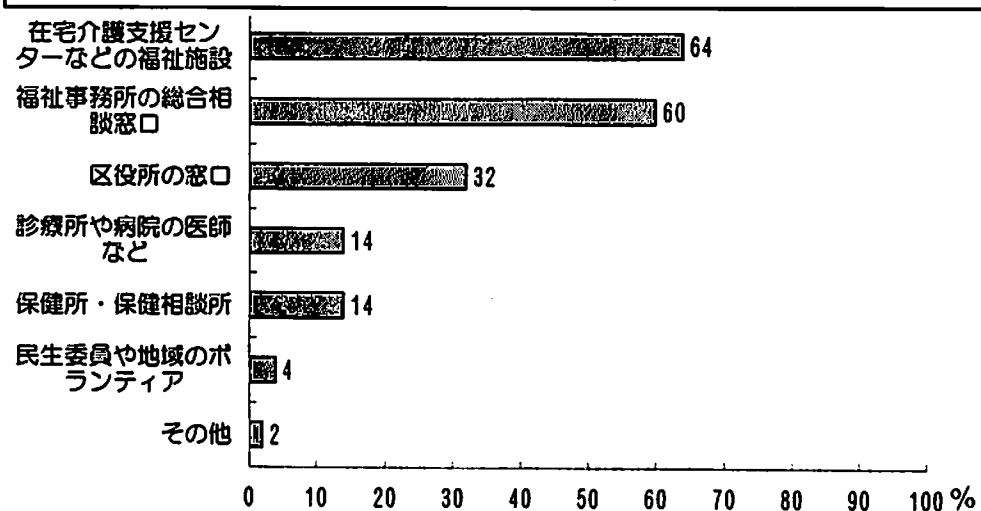
問7 あなたが高齢になったり障害を持つようになった場合、自宅で生活していくためには、特に何が必要だと思いますか。(複数回答)



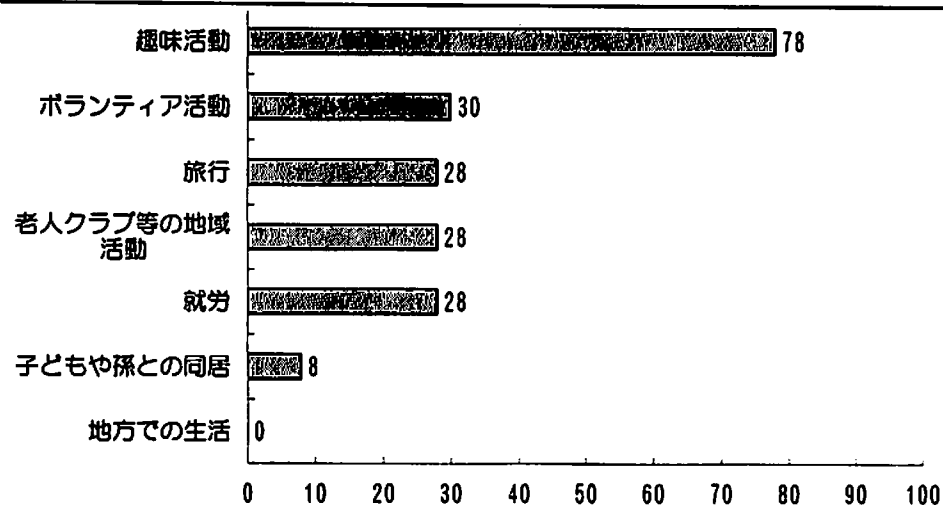
問8 地域に暮らす高齢者・障害者の方の近隣の一人として、あなたならどのような支援ができると思いますか。（複数回答）



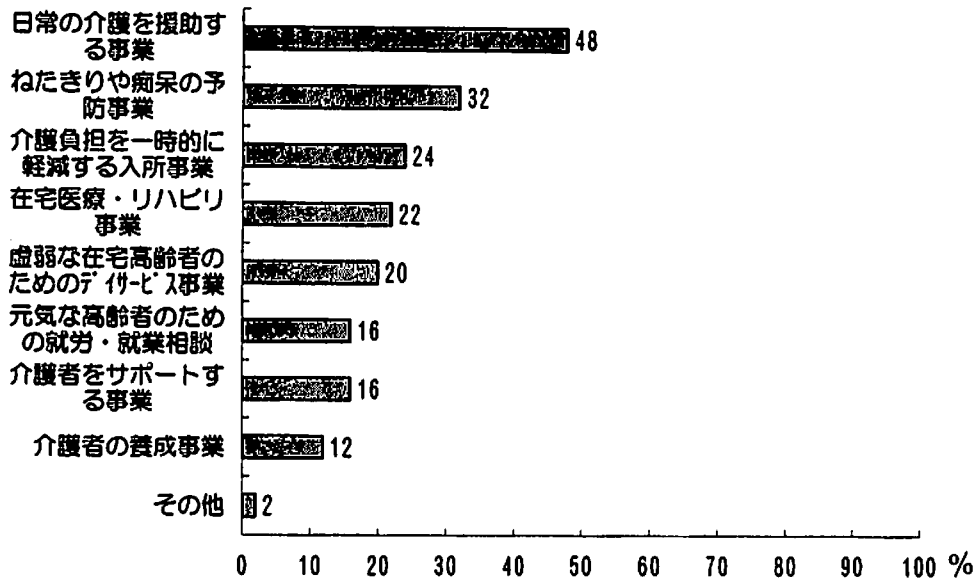
問9 もし、あなたが高齢者・障害者等になって、在宅で介護する（または受ける）ことになったら、介護の方法やサービスについての相談は、どこにしますか。（複数回答）



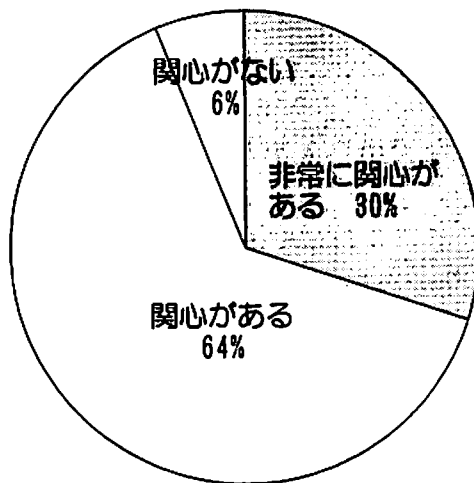
問10 あなたが、高齢になった場合、生活を豊かにするため、チャレンジしてみたいことは何ですか。（複数回答）



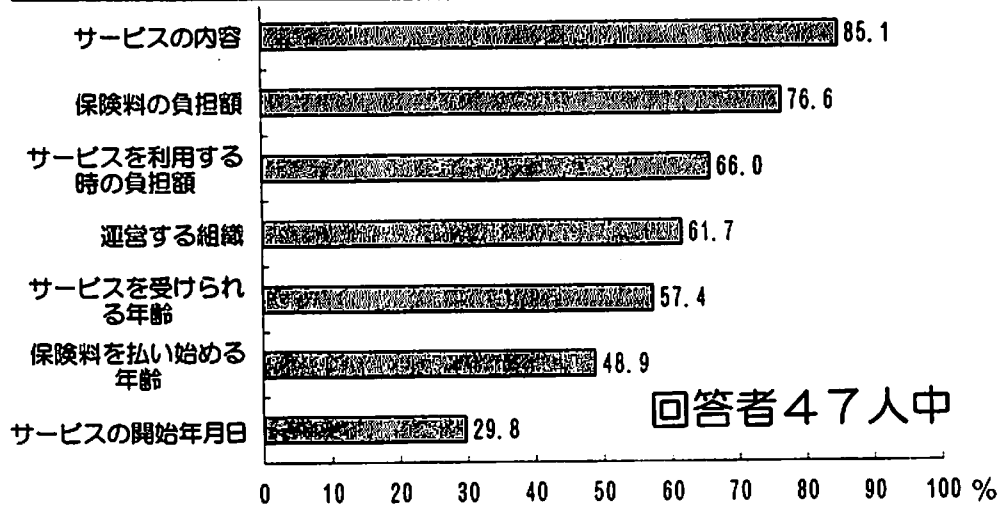
問11 足立区の在宅福祉サービスは、今後何を充実するべきだと思いますか。（複数回答）



問12 「公的介護保険制度」に関心がありますか。



問12-1 次の公的介護保険制度の内容について、関心のあるものに○をつけて下さい。（複数回答）





### 問13 在宅福祉についての意見・要望

- 消費税が福祉にまわった様子もないまま、5%になろうとしています。公的介護制度もまた、保険料を徴収するというのではなく、消費税から使って欲しい。(50歳代女性)
- 介護する人が人間らしい生活ができるよう、きめ細かいサービスの普及に努めて欲しい。介護する家族の気持ちにゆとりができることが、介護される人の幸せにつながるのではないのでしょうか。(40歳代女性)
- まず、自身で健康管理を正しく行い、在宅福祉を受けるようになって自立して、可能な限りの生活の向上を図らなければならないと思います。他力に頼る、安易な意識の一扫が必要です。(70歳代女性)
- 在宅福祉という表現は、現状では家庭に負担を強いている感じは否めません。公的機関の完全なる充実、それを先決として進めるべきだと思います。(50歳代女性)
- 施設入所希望者が全員入所できない現状から、これからは、在宅介護とこれに関連する福祉サービスの充実が重視される時代になっていると思います。人員を充実して、福祉サービスを拡大していくことを希望します。(60歳代男性)
- 父を介護して1年、デイサービス、ショートステイ及び介護教室も利用しています。しかし、急に利用したくてもベッド数が足りない状況が、まだまだあります。(50歳代女性)
- 施設でケアするのは莫大な費用と人手がかかるので、在宅に戻すという厚生省や都・区の方針は理解できる。しかし、高齢者・障害者とその介護者へのケアには技術が求められるので、区は専門的講習教育に予算を投入していただきたい。家に閉じこもりがちな高齢者や障害者をいかにデイケアセンターに行く気にさせるかの方策も研究して欲しい。自治会と連携していくという方法はいかがでしょうか。(50歳代女性)
- 自分自身が今まで生活していた自宅での老後。だれでもが望んでいることと思います。人生の終幕を家族に囲まれて自宅で迎えられるよう、今後の在宅福祉制度のより一層の向上を期待しています。(40歳代男性)
- 私自身姑を3年介護することで、共倒れになりました。家族、社会の協力が大切なことを身をもって感じております。(60歳代女性)
- 高齢化社会が急速に進みつつあるあるので、公的介護保険制度の内容を煮つめて、早急の実施されるよう希望します。(60歳代男性)
- 義父は、現在、デイサービス順番待ちの状態です。かつて、サービスを利用している時は生活にも張りがありました。現在は「何の楽しみもない」と塞ぎ込んでいます。デイサービスのような施設を、有料でもいいから作って欲しいと願っています。(30歳代女性)
- 在宅福祉を充実させるには、人を確保し養成することが重要です。例えば、

- 町会・自治会等の組織で互助会的なものをつくり、地域ぐるみで在宅福祉を考え、取り組んでいけるようになると良いと思います。(50歳代女性)
- 在宅福祉について、制度・内容を知らない人がいると思います(私も含めて)。元気なうちに(40～60歳代)老後に備えて、勉強していかなければならないと思います。(30歳代女性)
  - 30～40歳代から福祉ボランティアに費やした時間を貯え、自分が老いて人手を必要とした時、優先してもらえる制度が必要。しかも、全国ネットで行えば、ボランティアに協力する人が増えると思う。(40歳代女性)
  - 老後、安心して福祉サービスを受けるために気軽に相談できる窓口を作って、公平に利用できるようにして欲しい。それには、区民の協力が必要だと思うので、区民が在宅福祉に協力できる方法を考えて欲しい。私は、手伝いができるし、したいと思うが、どのようにしたらいいかわからない。(30歳代女性)
  - 高齢化社会の仲間入りをするのも時間の問題の我が国。多くの人たちが在宅福祉についての意義・目的などを知る機会をもって欲しいです。身近にも在宅福祉に協力したいと思っている人がいます。(20歳代男性)
  - 日本には福祉という概念が定着してしていない。本来、福祉先進国のヨーロッパでは高負担・高福祉が原則である。そこには当然「余暇」の概念も含まれた上での話である。福祉に関する価値観を変え、社会福祉施設を整備し、人口構成のバランスを整えた上での、真の福祉政策を考えてほしい。(40歳代男性)
  - 老人は話し相手になっただけで勇気づけられるようです。在宅介護をできるうちはよいが、重症になると、施設入所が不可欠です。自分が将来そのような状態になったら、施設に入り、絶対家族には迷惑をかけたくありません。ぜひ、施設を増やしてください。(60歳代男性)
  - 急速な高齢化社会の出現にどう対処したらよいか。先の国会で成立しなかった「介護保険法」によってはじめて関心をもった程度であった。この度、区政モニターとして問題のあり方を知り、今更ながら、ことの重大さを思い知らされた。以外だったのは、行政がかなり深く広くこの問題に取り組んでいることであった。更に、住民の参加意識を高めるPR活動をお願いしたい。(60歳代男性)
  - 高齢者が確実に増えることをふまえ、高齢者福祉を予防対策の見地から、精神面・健康面・経済面から考える必要がある。男性の家事負担はあたりまえだという考えを徹底することも大切だ。(60歳代男性)  
施設見学会で、六月の老人ホームを見て、立派な施設だと思いましたが、私は在宅の生活を送りたいと思います。私の受給できる年金にも疑問がありますし、多くの高齢者を介護していくための予算が心配です。福祉を十分考えられるようなバランスのとれた政策に取り組んで欲しい。(30歳代男性)
  - 一人暮らしの老人の財産管理について公的窓口を設置して欲しい。(60歳代女性)

# 平成8年度第1回区政モニターアンケート

## <在宅福祉について>

氏名 \_\_\_\_\_

数年前から、「在宅福祉」という言葉が、新聞紙上・ニュース等によく使われるようになりました。

本年4月、足立区では高齢者・障害者の在宅サービスの向上をはかり、今後増大が予想される在宅介護等を支援するために「在宅福祉課」が発足しました。

今回の区政モニターアンケートでは、足立区の「在宅福祉」のサービス事業について、区民の皆様の意識の現状と要望をお聞きし、今後の施策に反映させていきたいと思ひます。よろしくご協力お願いいたします。

問1 「在宅福祉」という言葉から、どんなことをイメージしますか。あなたの考えに近いものを選んでください。(1つだけ)

- (1) 施設への入所は人数に限りがあるので、入所するまで自宅での介護を支援する福祉
- (2) 身体が弱ってもできるだけ住み慣れた自宅で生活できる方が良いので、それを支援する福祉
- (3) 在宅介護は理想であるが、いろいろな支援を受けないと現実的には難しい
- (4) 介護は家族で行うものである
- (5) その他 ( )

問2 「在宅福祉」のなかには、高齢者福祉と障害者福祉の両方の施策があります。このことを知っていましたか。(1つだけ)

- (1) 知っていた
- (2) どちらも知らなかった
- (3) 高齢者福祉は知っていた
- (4) 障害者福祉は知っていた

問3 足立区では高齢者・障害者の福祉サービスとして、さまざまな事業を実施しています。この中で知っているものに○をつけてください。(いくつでも)

- (1) デイホーム (虚弱な高齢者が通所して、健康増進のために工作や音楽などの活動を行う)
- (2) 巡回型ホームヘルパー派遣 (高齢者家庭を巡回し24時間体制で介護援助を行う)
- (3) 家族介護者教室 (在宅介護のための学習会・講座)
- (4) 食事サービス (高齢者宅に昼食を配達する)



(3) わからない

問6-1 「(1)施設に入りたい」を選んだ人にお聞きします。その理由は何ですか。

(2つまで)

- (1) 家族に迷惑をかけたくないから
- (2) 家族は仕事をしているので、十分な介護ができないから
- (3) 施設の方が専門的な介護が受けられるから
- (4) 住宅が狭く、介護用の部屋を設けられないから
- (5) その他 ( )

問6-2 「在宅介護を希望する」を選んだ人にお聞きします。その理由は何ですか。(2

つまで)

- (1) 介護サービスを受けながら自宅で生活をしたいから
- (2) 家族が介護できると思うから
- (3) 施設では自由な生活ができないから
- (4) その他 ( )

問7 あなたが、高齢になったり障害を持つようになった場合、自宅で生活していくためには、特に何が必要だと思いますか。(2つまで)

- (1) 気軽に往診してくれる医者・看護婦
- (2) いつでも頼める介護や家事援助
- (3) 公的年金や預金・保険
- (4) 介護してくれる家族や身内
- (5) 相談ののってくれたり、助けてくれる隣人・知人
- (6) 福祉サービスに関する相談先やすぐ利用できる福祉施設
- (7) その他 ( )

問8 地域に暮らす高齢者・障害者の方の近隣の一人として、あなたならどのような支援ができると思いますか。(いくつでも)

- (1) 食事作り
- (2) 掃除・洗濯・買い物
- (3) 相談・話し相手
- (4) 緊急時の連絡先
- (5) 毎日の短時間訪問
- (6) その他 ( )

問9 もし、あなたが高齢者・障害者等になって、在宅で介護する(または受ける)ことになったら、介護の方法やサービスについての相談は、どこにしますか。(2つまで)

- (1) 区役所の窓口
- (2) 福祉事務所の総合相談窓口
- (3) 保健所・保健相談所
- (4) 在宅介護支援センターなどの福祉施設
- (5) 民生委員や地域のボランティア
- (6) 診療所や病院の医師など
- (7) その他 ( )

問10 「在宅福祉」の施策のひとつに、元気な高齢者の「いきがい対策」があります。あなたが、高齢になった場合、生活を豊かにするため、チャレンジしてみたいと思うことは何ですか。(2つまで)

- (1) 趣味活動
- (2) 就労
- (3) ボランティア活動
- (4) 老人クラブ等の地域活動
- (5) 旅行
- (6) 地方での生活
- (7) 子どもや孫との同居
- (8) その他 ( )

問11 足立区の在宅福祉サービスは、今後、何を充実するべきだと思いますか。(2つまで)

- (1) 日常の介護を援助する事業 (ホームヘルプサービスや入浴サービスなど)
- (2) 介護負担を一時的に軽減する入所事業 (ショートステイ・ミドルステイなど)
- (3) 介護をサポートする事業 (介助相談・介護者教室)
- (4) 虚弱な在宅高齢者のためのデイサービス事業 (デイホーム・給食サービスなど)
- (5) 介護者の養成事業 (ホームヘルパーの養成講座・就学資金貸し付けなど)
- (6) 在宅医療・リハビリ事業 (看護婦訪問・機能訓練)
- (7) 元気な高齢者のための就労・就業相談
- (8) ねたきりや痴呆にならないための予防事業
- (9) その他 ( )

問12 「公的介護保険制度」についてお聞きします。

公的介護保険制度というのは、あらかじめ保険料を支払い、ねたきり等で介護が必要になった場合、介護サービスを利用できるしくみです。この制度について関心がありますか。(1つだけ)

- (1) 非常に関心がある。
- (2) 関心がある。

(3) 関心がない。

問12-1 (1)・(2)を選んだ人にお聞きします。次の公的介護保険制度の内容について関心のあるものに○をつけて下さい。(いくつでも)

- (1) 運営する組織
- (2) 保険料の負担額
- (3) 保険料を払い始める年齢
- (4) サービスを受けられる年齢
- (5) サービスを利用する時の負担額
- (6) サービスの内容
- (7) サービスの開始年月日

問13 在宅福祉についてご意見をご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

企画部広報課広聴相談係

# 集 計 表

(%)

在宅福祉	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40才以上
サンプル(人)	50	19	31	17	33
問1 「在宅福祉」という言葉からどんなことをイメージするか。N=50					
1 施設入所できるまで自宅での介護を支援する福祉	10.0	15.8	6.5	11.8	9.1
2 自宅で生活する方がよいのでそれを支援する福祉	64.0	68.4	61.3	58.8	66.7
3 在宅福祉は理想だが支援を受けないと現実には難しい	22.0	15.8	25.8	23.5	21.2
4 介護は家族で行うもの	0	0	0	0	0
5 その他	4.0	0	6.5	5.9	3.0
問2 「在宅福祉」に高齢者福祉と障害者福祉の施策があることを知っていたか。N=50					
1 知っていた	68.0	63.2	71.0	70.6	66.7
2 どちらも知らなかった	4.0	10.5	0	5.9	3.0
3 高齢者福祉は知っていた	26.0	26.3	25.8	17.6	30.3
4 障害者福祉は知っていた	2.0	0	3.2	5.9	0
問3 高齢者・障害者の福祉サービスで知っているものはどれか。N=50 (複数回答)					
1 デイホーム	66.0	57.9	71.0	41.2	78.8
2 巡回型ホームヘルパー派遣	58.0	63.2	54.8	52.9	60.6
3 家族介護者教室	32.0	15.8	41.9	17.6	39.4
4 食事サービス	72.0	52.6	83.9	70.6	72.7
5 巡回入浴サービス	86.0	78.9	90.3	100	78.8
6 ショートステイ・ミドルステイ	50.0	42.1	54.8	23.5	63.6
7 リハビリテーション事業	52.0	57.9	48.4	23.5	66.7
8 緊急通報システム	32.0	15.8	41.9	29.4	33.3
9 紙おむつの支給	38.0	26.3	45.2	29.4	42.4
10 高齢者住宅改造費助成	30.0	15.8	38.7	17.6	36.4
11 心身障害者(児)緊急一時保護	4.0	5.3	3.2	0	6.1
問4 高齢者・障害者の福祉サービス施設で知っているものはどれか。N=50 (複数回答)					
1 特別養護老人ホーム	96.0	94.7	96.8	94.1	97.0
2 訪問看護ステーション	48.0	31.6	58.1	29.4	57.6
3 高齢者在宅介護支援センター	42.0	42.1	41.9	11.8	57.6
4 高齢者在宅サービスセンター	52.0	47.4	54.8	35.3	60.6
5 老人保健施設	24.0	36.8	16.1	17.6	27.3
6 東部・西部障害福祉総合センター	66.0	63.2	67.7	47.1	75.8
7 授産・作業施設	56.0	47.4	61.3	23.5	72.7
問5 高齢になったとき、不安に思うものはどれか。N=50 (複数回答)					
1 自分の介護	78.0	73.7	80.6	76.5	78.8
2 親・配偶者の介護	74.0	78.9	71.0	70.6	75.8
3 健康	90.0	89.5	90.3	88.2	90.9
4 収入	58.0	36.8	71.0	64.7	54.5
5 仲間・友人関係	16.0	5.3	22.6	17.6	15.2
6 その他	4.0	5.3	3.2	11.8	0
問6 老後、介護が必要になったとき、特別養護老人ホーム等の施設に入りたいか。N=50					
1 施設に入りたいと思う	28.0	36.8	22.6	23.5	30.3
2 在宅を希望する	52.0	63.2	45.2	35.3	60.6
3 わからない	20.0	0	32.3	41.2	9.1
問6-1 施設に入りたい理由は何か。N=14 (複数回答)					
1 家族に迷惑をかけたくないから	78.6	71.4	85.7	100	70.0
2 家族は仕事があるので十分な介護ができないから	35.7	42.9	28.6	50.0	30.0
3 施設の方が専門的な介護が受けられるから	42.9	57.1	28.6	0	60.0



在宅福祉		全員	性別		年齢別	
			男	女	40歳未満	40才以上
サンプル(人)		50	19	31	17	33
4	住宅が狭く、介護用の部屋を設けられないから	7.1	14.3	0	0	10.0
5	その他	0	0	0	0	0
問6-2 在宅介護を希望する理由は何か。N=26 (複数回答)						
1	サービスを受けながら自宅で生活したい	92.3	91.7	92.9	100	90.0
2	家族が介護できると思うから	15.4	33.3	0	0	20.0
3	施設では自由な生活ができないから	42.3	33.3	50.0	66.7	35.0
4	その他	15.4	16.7	14.3	0	20.0
問7 高齢や障害になった時、自宅で生活していくためには何が必要か。N=50 (複数回答)						
1	気軽に往診してくれる医者・看護婦	58.0	57.9	58.1	47.1	63.6
2	いつでも頼める介護や家事援助	52.0	47.4	54.8	35.3	60.6
3	公的年金や預金・保険	28.0	15.8	35.5	52.9	15.2
4	介護してくれる家族や身内	26.0	36.8	19.4	17.6	30.3
5	相談ののってくれたり、助けてくれる隣人・知人	8.0	5.3	9.7	5.9	9.1
6	福祉サービスに関する相談先やすぐ利用できる施設	30.0	42.1	22.6	41.2	24.2
7	その他	0	0	0	0	0
問8 高齢者・障害者の近隣の一人として、どんな支援ができるか。N=50 (複数回答)						
1	食事作り	20.0	0	32.3	5.9	27.3
2	掃除・洗濯・買い物	50.0	26.3	64.5	47.1	51.5
3	相談・話し相手	82.0	84.2	80.6	58.8	93.9
4	緊急時の連絡先	68.0	73.7	64.5	64.7	69.7
5	毎日の短時間訪問	28.0	26.3	29.0	29.4	27.3
6	その他	12.0	5.3	16.1	5.9	15.2
問9 高齢者・障害者等になって、在宅で介護する(受ける)ことになったら、介護の方法やサービスについての相談はどこにするか。N=50 (複数回答)						
1	区役所の窓口	32.0	42.1	25.8	47.1	24.2
2	福祉事務所の総合相談窓口	60.0	63.2	58.1	52.9	63.6
3	保健所・保健相談所	14.0	10.5	16.1	11.8	15.2
4	在宅介護支援センターなどの福祉施設	64.0	68.4	61.3	47.1	72.7
5	民生委員や地域のボランティア	4.0	0	6.5	5.9	3.0
6	診療所や病院の医師など	14.0	10.5	16.1	17.6	12.1
7	その他	2.0	0	3.2	5.9	0
問10 高齢になった時、豊かな生活のためにしたいことは何か。N=50 (複数回答)						
1	趣味活動	78.0	73.7	80.6	88.2	72.7
2	就労	28.0	26.3	29.0	47.1	18.2
3	ボランティア活動	30.0	26.3	32.3	29.4	30.3
4	老人クラブ等の地域活動	28.0	31.6	25.8	23.5	30.3
5	旅行	28.0	31.6	25.8	11.8	36.4
6	地方での生活	0	0	0	0	0
7	子供や孫との同居	8.0	10.5	6.5	0	12.1
8	その他	0	0	0	0	0
問11 足立区の在宅福祉サービスは今後何を充実していくべきか。N=50 (複数回答)						
1	日常の介護を援助する事業	48.0	63.2	38.7	41.2	51.5
2	介護負担を一時的に軽減する入所事業	24.0	26.3	22.6	29.4	21.2
3	介護をサポートする事業	16.0	15.8	16.1	11.8	18.2
4	虚弱な在宅高齢者のためのデイサービス事業	20.0	21.1	19.4	5.9	27.3
5	介護者の養成事業	12.0	15.8	9.7	17.6	9.1

在宅福祉	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40才以上
サンプル (人)	50	19	31	17	33
6 在宅介護・リハビリ事業	22.0	21.1	22.6	35.3	15.2
7 元気な高齢者のための就労・就業事業	16.0	10.5	19.4	17.6	15.2
8 ねたきりや痴呆にならないための予防事業	32.0	21.1	38.7	29.4	33.3
9 その他	4.0	5.3	3.2	5.9	3.0
問12 公的介護保険制度に関心があるか。N=50					
1 非常に関心がある	30.0	42.1	22.6	29.4	30.3
2 関心がある	64.0	57.9	67.7	70.6	60.6
3 関心がない	6.0	0	9.7	0	9.1
問12-1 公的介護保険の内容で関心のあるものは何か。N=47 (複数回答)					
1 運営する組織	61.7	57.9	64.3	52.9	66.7
2 保険料の負担額	76.6	68.4	82.1	82.4	73.3
3 保険料を払い始める年齢	48.9	57.9	42.9	47.1	50.0
4 サービスを受けられる年齢	57.4	68.4	50.0	64.7	53.3
5 サービスを利用する時の負担額	66.0	73.7	60.7	58.8	70.0
6 サービスの内容	85.1	89.5	82.1	94.1	80.0
7 サービスの開始年月日	29.8	63.8	25.0	29.4	30.0